VIII 県が取り組むべき施策

- 「県が取り組むべき施策」や「神奈川らしい教育に生かしたいもの」について、教職 員、保護者、学校評議員に聞くことで、本県の教育行政に期待するところや、神奈川の 特色を生かした独自の教育についての考えを把握することにした。
- 調査の結果、「県が取り組むべき施策」について、教職員は順に「少人数学級などのきめ細かな学習指導の充実」、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、「障害のある児童・生徒への支援」と回答する割合が高くなっている。保護者と学校評議員は「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」の順になっている。一般県民では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」、「体験活動やボランティア活動ができる環境の整備」の順になっている。

回答の割合が最も高い項目を平成17年度調査結果と比較すると、保護者は、今回の調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、前回の調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導」となっている。学校評議員は、今回の調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、前回の調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導」となっている。

○ また、「神奈川らしい教育に生かしたいもの」について、教職員は順に「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」、「個性豊かでたくましい人づくり」、「神奈川の歴史や伝統文化・風土」と回答する割合が高くなっている。

保護者と学校評議員は「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」、「個性豊かでたくましい人づくり」の順になっている。

回答の割合が最も高い項目を前回調査と比較すると、平成17年度調査結果では、教職員、保護者、学校評議員のいずれも「個性豊かでたくましい人づくり」となっている。

VIII-1 県が取り組むべき施策

教職員、保護者、学校評議員、一般県民に、『県が取り組むべき施策』について聞いたところ、回答の割合が高かった項目は、教職員では「少人数学級などのきめ細かな学習指導の充実」、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、「障害のある児童・生徒への支援」であり、保護者及び学校評議員では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」、一般県民では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」、「体験活動やボランティア活動ができる環境の整備」であった。

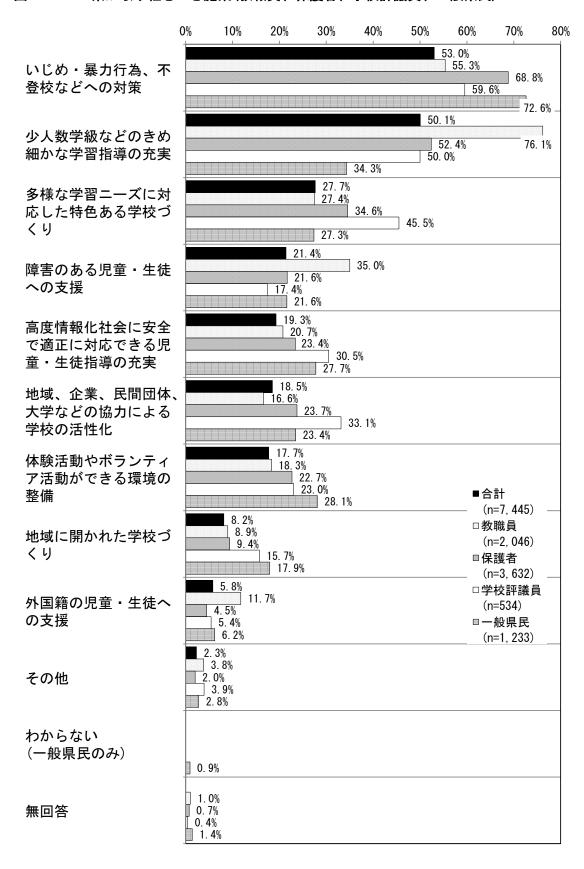
また、回答の割合が最も高かった項目を平成17年度調査結果と比較すると、教職員の回答はいずれの調査においても「少人数学級などのきめ細かな学習指導の充実」の割合が最も高く、平成25年度調査では76.1%であり、平成17年度調査では76.9%であった。保護者の回答は平成25年度調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(68.8%)であり、平成17年度調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(61.9%)であった。学校評議員の回答は平成25年度調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(59.6%)であり、平成17年度調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(60.2%)であった。一般県民の回答はいずれの調査においても「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」の割合が最も高く、平成25年度調査では72.6%、平成17年度調査では62.3%であった。

『県が取り組むべき施策』について教職員、保護者、学校評議員及び一般県民に聞いたところ、回答の割合が高かった項目は、教職員では「少人数学級などのきめ細かな学習指導の充実」(76.1%)、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(55.3%)、「障害のある児童・生徒への支援」(35.0%)であり、保護者及び学校評議員では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(保護者:68.8%、学校評議員:59.6%)、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(保護者:52.4%、学校評議員:50.0%)、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」(保護者:34.6%、学校評議員:45.5%)、一般県民では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(72.6%)、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(34.3%)、「体験活動やボランティア活動ができる環境の整備」(28.1%)であった。(表Ⅷ-1、図Ⅷ-1 参照)

表 VIII-1 県が取り組むべき施策(上位5項目)

か細かな学習指導の 校などへの対策 登校などへの対策 登校などへの対策 登校などへの対策 登校などへの対策 では、企業、民間団体、 大学などの協力による 大学などの活性化 全・生徒指導の対応できる児 全で適正に対応できる児 全で適正に対応できる児 全で適正に対応できる児 大学などへの対策 大学などの協力による 大学などの協力による 大学などの活性化 大学などの協力による 大学などの活性化 全・生徒指導の対応できる児 大学などの法性化 全・生徒指導の対応できる児 大学などの法力に大きる児 大学などの法力に大きる児 大学などの法力に大学と 大学などの法力に大学と 大学などの法力に大学と 大学などの法力に大学と 大学などの法力に大学と 大学などへの対策 大学などの対策 大学などへの対策 大学などの対策 大学などの対策 大学などの対策 大学などの対策 大学などのが、 大学などのが、	A STATE OF THE STA						
1 位 め細かな学習指導の 充実 校などへの対策 登校などへの対策 登校などへの対策 2 位 いじめ・暴力行為、不 登校などへの対策 少人数学級などのきめ 知かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 か細かな学習指導 ないした特色ある学校づくり タ様な学習ニーズに 対応した特色ある学校づくり 現の整備 35.0% 34.6% 45.5% 多様な学習ニーズに 対応した特色ある学校づくり 境の整備 第5.5% 本も成立との協力による 大学などの協力による 大学などの協力による 学校の活性化 23.7% 33.1% 本も表別の活性化 第十生徒指導の対応できる児 全で適正に対応でき 対応した特色を表現 会様な学習ニースに 対応した特色の活性化 23.7% 33.1% 本は表別の活性化 会様な学習ニースに 対応できる児 全で適正に対応でき 対応した特色を表現 からに大特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 会様な学習ニース 対応した特色を表現 全で適正に対応でき 対応した特色を表現 会で適正に対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対応できる児 全で適正に対応でき 対応した特色を表現 またまに対応でき 対応した特色を表現 またまに対しますに対します。またまに対しまたまに対しますに対しますに対しますに対しますに対します。またまに対しますに対しますに対しますに対しますに対しますに対しますに対しますに対しま		教職員	保護者	学校評議員	一般県民		
位 充実 76.1% 68.8% 59.6% 59.6% 2		少人数学級などのき	いじめ・暴力行為、不登	いじめ・暴力行為、不	いじめ・暴力行為、不		
76.1% 68.8% 59.6% 2	1	め細かな学習指導の	校などへの対策	登校などへの対策	登校などへの対策		
2 位 いじめ・暴力行為、不 登校などへの対策 少人数学級などのきめ め細かな学習指導 め細かな学習指導 りん数学級などのき め細かな学習指導 りんの支援 55.3% 52.4% 50.0% 1 0	位	充実					
登校などへの対策 細かな学習指導 め細かな学習指導 ち5.3% 52.4% 50.0%		76. 1%	68.8%	59. 6%	72. 6%		
登校などへの対策 細かな字習指導 め細かな字習指導 め細かな字習指導 55.3% 52.4% 50.0%	_	いじめ・暴力行為、不	少人数学級などのきめ	少人数学級などのき	少人数学級などのき		
55.3% 52.4% 50.0% 障害のある児童・生徒 多様な学習ニーズに対 タ様な学習ニーズに 対応した特色ある学 大学などの協力による 大学などの活性化 全で適正に対応できる児 全で適正に対応できる児 全で適正に対応できる児 大学な学習ニースに対応できる児 大学などの活性化 大学などの活性などの活性化 大学などの活性などの活性などの活性などの活性などの活性などの活性などの活性などの活性		登校などへの対策	細かな学習指導	め細かな学習指導	め細かな学習指導		
3	111	55. 3%	52. 4%	50.0%	34. 3%		
位 くり 校づくり 境の整備 35.0% 34.6% 45.5% 多様な学習ニーズに 地域、企業、民間団体、 大学などの協力による 学校の活性化 27.4% 23.7% 高度情報化社会に安全 全で適正に対応でき で適正に対応できる見 全で適正に対応でき 対応した特色あ		障害のある児童・生徒	多様な学習ニーズに対	多様な学習ニーズに	体験活動やボランテ		
35.0% 34.6% 45.5%	3	への支援	応した特色ある学校づ	対応した特色ある学	ィア活動ができる環		
4 対応した特色ある学 校づくり セグラス・4% とで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 をで適正に対応できる児 を表します。 地域、企業、民間団体、	位		くり	校づくり	境の整備		
4 対応した特色ある学 大学などの協力による		35.0%	34. 6%	45. 5%	28. 1%		
位 校づくり 学校の活性化 る学校の活性化 童・生徒指導の 27.4% 23.7% 33.1% 高度情報化社会に安 高度情報化社会に安全 高度情報化社会に安 多様な学習ニータで適正に対応できる児 全で適正に対応でき で適正に対応できる児 全で適正に対応できる児		多様な学習ニーズに	地域、企業、民間団体、	地域、企業、民間団体、	高度情報化社会に安全		
27.4% 23.7% 33.1%	4	対応した特色ある学	大学などの協力による	大学などの協力によ	で適正に対応できる児		
高度情報化社会に安 高度情報化社会に安全 高度情報化社会に安 多様な学習ニー 全で適正に対応でき で適正に対応できる児 全で適正に対応でき 対応した特色を	位	校づくり	学校の活性化	る学校の活性化	童・生徒指導の充実		
g 全で適正に対応でき で適正に対応できる児 全で適正に対応でき 対応した特色 a		27. 4%	23. 7%	33. 1%	27. 7%		
	5 位	高度情報化社会に安	高度情報化社会に安全	高度情報化社会に安	多様な学習ニーズに		
♥ 7円卒		全で適正に対応でき	で適正に対応できる児	全で適正に対応でき	対応した特色ある学		
☆ る児里・生使指導の尤 里・生使指導の尤美 る児里・生使指導の尤 校づくり		る児童・生徒指導の充	童・生徒指導の充実	る児童・生徒指導の充	校づくり		
** 実	ĺΛ	実		実			
20. 7% 23. 4% 30. 5%		20. 7%	23. 4%	30. 5%	27. 3%		

図 VIII-1 県が取り組むべき施策(教職員、保護者、学校評議員、一般県民)



平成17年度調査との比較

『県が取り組むべき施策』について、回答の割合が高かった項目を平成17年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成25年度調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導の充実」(76.1%)、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(55.3%)、「障害のある児童・生徒への支援」(35.0%)であり、平成17年度調査では「少人数学級などきめ細かな学習指導の充実」(76.9%)、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(46.7%)、「障害のある児童・生徒への支援」(33.2%)であった。

保護者の回答は平成25年度調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(68.8%)、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(52.4%)、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」(34.6%)であり、平成17年度調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(61.9%)、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(58.0%)、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」(33.3%)であった。

学校評議員の回答は平成 25 年度調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」 (59.6%)、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」 (50.0%)、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」 (45.5%)であり、平成 17 年度調査では「少人数学級などのきめ細かな学習指導」 (60.2%)、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」 (41.9%)、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」 (39.4%)であった。

一般県民の回答は平成25年度調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(72.6%)、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(34.3%)、「体験活動やボランティア活動ができる環境の整備」(28.1%)であり、平成17年度調査では「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」(62.3%)、「少人数学級などのきめ細かな学習指導」(44.9%)、「多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり」(35.9%)であった。(表VIII-2参照)

表 VIII-2 県が取り組むべき施策(上位 9項目)

12							
	教耶	戦員 	保護者				
	(平成 25 年度)	(平成 17 年度)	(平成 25 年度)	(平成 17 年度)			
	n=2, 046	n=1, 863	n=3, 632	n=3, 876			
1 位	少人数学級などのきめ	少人数学級などきめ細	いじめ・暴力行為、不	少人数学級などのきめ			
	細かな学習指導の充実	かな学習指導の充実	登校などへの対策	細かな学習指導			
	76. 1%	76. 9%	68. 8%	61. 9%			
2	いじめ・暴力行為、不	いじめ・暴力行為、不	少人数学級などのきめ	いじめ・暴力行為、不			
	登校などへの対策	登校などへの対策	細かな学習指導	登校などへの対策			
位	55. 3%	46. 7%	52.4%	58. 0%			
	障害のある児童・生徒	障害のある児童・生徒	多様な学習ニーズに対	多様な学習ニーズに対			
3	への支援	への支援	応した特色ある学校づ	応した特色ある学校づ			
位			〈 り	< b			
	35.0%	33. 2%	34. 6%	33. 3%			
	多様な学習ニーズに対	多様な学習ニーズに対	地域、企業、民間団体、	情報化社会へ安全で適			
4	応した特色ある学校づ くり	応した特色ある学校づ くり	大学などの協力による 学校の活性化	正に対応できる児童・ 生徒指導の充実			
位	27. 4%	29. 8%	23.7%	28.6%			
	高度情報化社会に安全		 高度情報化社会に安全	体験活動やボランティ			
5	で適正に対応できる児	ア活動ができる環境の	で適正に対応できる児	ア活動ができる環境の			
位	童・生徒指導の充実	整備	童・生徒指導の充実	整備			
132	20. 7%	20. 5%	23. 4%	24. 3%			
-	<u>20:7%</u> 体験活動やボランティ	情報化社会へ安全で適	 体験活動やボランティ	地域、企業、民間団体、			
6	ア活動ができる環境の	正に対応できる児童・	ア活動ができる環境の	大学などの協力による			
位	アル動がくとる環境の 整備	生徒指導の充実	・	学校の活性化			
	18.3%	18. 3%	22. 7%	21. 7%			
	地域、企業、民間団体、	地域、企業、民間団体、	障害のある子どもへの	障害のある子どもへの			
_	地域、正米、民間団体、 大学などの協力による	大学などの協力による	支援	支援			
7 位	大手などの協力による 学校の活性化	学校の活性化	又饭				
132		10.00/	O1 C0/	10. 20/			
8 位	16.6%	16.9% 地域に開かれた学校づ	21.6%	19.3% 地域に開かれた学校づ			
	外国籍の児童・生徒へ	地域に開かれた子校 フ くり	地域に開かれた学校づ	地域に開かれた子校 フ くり			
	の支援 		〈 り				
	11. 7%	12.6%	9.4%	10.9%			
9	地域に開かれた学校づ	外国籍の児童・生徒へ の支援	外国籍の子どもへの支	外国籍の子どもへの支 援			
位	〈り		援 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	8. 9%	8. 8%	4. 5%	3. 3%			

	学校訂	平議員	一般県民		
	(平成 25 年度)	(平成 17 年度)	(平成 25 年度)	(平成 17 年度)	
	n=534	n=515	n=1, 233	n=1, 530	
1 位	いじめ・暴力行為、不	少人数学級などのきめ	いじめ・暴力行為、不	いじめ・暴力行為、不	
	登校などへの対策	細かな学習指導	登校などへの対策	登校などへの対策	
	59. 6%	60. 2%	72. 6%	62. 3%	
	少人数学級などのきめ	いじめ・暴力行為、不	少人数学級などのきめ	少人数学級などのきめ	
2 位	細かな学習指導	登校などへの対策	細かな学習指導	細かな学習指導	
127	50.0%	41.9%	34. 3%	44. 9%	
	多様な学習ニーズに対	多様な学習ニーズに対	体験活動やボランティ	多様な学習ニーズに対	
3	応した特色ある学校づ	応した特色ある学校づ	ア活動ができる環境の	応した特色ある学校づ	
位	くり 	् ८ ।	整備 	⟨ IJ	
	45. 5%	39. 4%	28. 1%	35. 9%	
	地域、企業、民間団体、	地域、企業、民間団体、	高度情報化社会に安全	体験活動やボランティース活動がある。	
4	│大学などの協力による │学校の活性化	大学などの協力による 学校の活性化	で適正に対応できる児 童・生徒指導の充実	│ア活動ができる環境の │ │ 整備	
位					
	33.1%	32.6%	27.7%	35. 2%	
5	高度情報化社会に安全で適正に対応できる児	情報化社会へ安全で適 正に対応できる児童・	多様な学習ニーズに対 応した特色ある学校づ	地域、企業、民間団体、 大学などの協力による	
付	童・生徒指導の充実	生徒指導の充実	くり	学校の活性化	
12	30. 5%	30.9%	27. 3%	30. 6%	
	体験活動やボランティ	体験活動やボランティ	地域、企業、民間団体、	障害のある子どもへの	
6 位	ア活動ができる環境の	ア活動ができる環境の	大学などの協力による	支援	
	整備	整備	学校の活性化		
	23. 0%	27. 0%	23. 4%	21. 4%	
7 位	障害のある子どもへの	地域に開かれた学校づ	障害のある子どもへの	地域に開かれた学校づ	
	支援	くり	支援	くり	
	17. 4%	24. 9%	21.6%	18. 4%	
8 位	地域に開かれた学校づ	障害のある子どもへの	地域に開かれた学校づ	外国籍の子どもへの支	
	くり	支援	くり	援	
	15. 7%	16. 3%	17. 9%	4. 6%	
9 位	外国籍の子どもへの支	その他	外国籍の子どもへの支	その他	
	援		援		
	5. 4%	3. 7%	6. 2%	3. 2%	

VIII - 2 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの

教職員には「神奈川らしい教育」に生かしたいものについて、保護者と学校評議員には「神奈川らしい教育」として取り組んでほしいものについて聞いたところ、回答の割合が高かった項目は、教職員では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」、「個性豊かでたくましい人づくり」、「神奈川の歴史や伝統文化・風土」であり、保護者及び学校評議員では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」、「個性豊かでたくましい人づくり」であった。

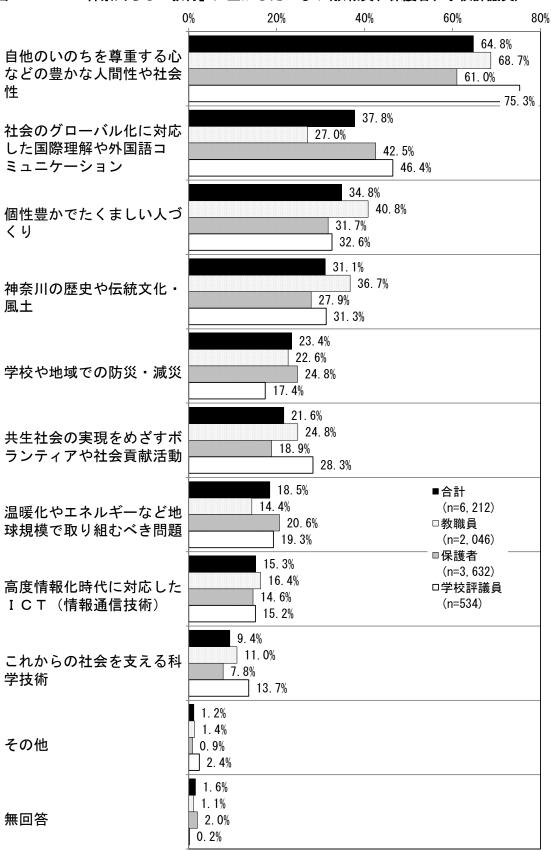
また、回答の割合が最も高かった項目を平成17年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成25年度調査では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(68.7%)、平成17年度調査では「個性豊かでたくましい人づくり」(39.0%)であり、保護者の回答は平成25年度調査では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(61.0%)、平成17年度調査では「個性豊かでたくましい人づくり」(40.0%)、学校評議員の回答は平成25年度調査では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(75.3%)、平成17年度調査では「個性豊かでたくましい人づくり」(46.0%)であった。

『「神奈川らしい教育」に生かしたいもの』について教職員、保護者及び学校評議員に聞いたところ、回答の割合が高かった項目は、教職員では、「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(68.7%)、「個性豊かでたくましい人づくり」(40.8%)、「神奈川の歴史や伝統文化・風土」(36.7%)であり、保護者及び学校評議員では、「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(保護者:61.0%、学校評議員:75.3%)、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(保護者:42.5%、学校評議員:46.4%)、「個性豊かでたくましい人づくり」(保護者:31.7%、学校評議員:32.6%)であった。(表Ⅷ-3、図Ⅷ-2 参照)

表 VIII-3 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの(上位5項目)

	11.1 0 「作水川らして秋日」に上がした。 00 (工匠の東日)					
	教職員	保護者	学校評議員			
1位	自他のいのちを尊重する心な どの豊かな人間性や社会性	自他のいのちを尊重する心な どの豊かな人間性や社会性	自他のいのちを尊重する心な どの豊かな人間性や社会性			
	68. 7%	61.0%	75. 3%			
2位	個性豊かでたくましい人づく り	社会のグローバル化に対応し た国際理解や外国語コミュニ ケーション	社会のグローバル化に対応し た国際理解や外国語コミュニ ケーション			
	40. 8%	42. 5%	46. 4%			
3位	神奈川の歴史や伝統文化・風土	個性豊かでたくましい人づく り	個性豊かでたくましい人づく り			
	36. 7%	31. 7%	32. 6%			
4位	社会のグローバル化に対応し た国際理解や外国語コミュニ ケーション	神奈川の歴史や伝統文化・風土	神奈川の歴史や伝統文化・風土			
	27. 0%	27. 9%	31.3%			
5位	共生社会の実現をめざすボラ ンティアや社会貢献活動	学校や地域での防災・減災	共生社会の実現をめざすボラ ンティアや社会貢献活動			
	24. 8%	24. 8%	28. 3%			

図 VIII-2 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの(教職員、保護者、学校評議員)



平成17年度調査との比較

『「神奈川らしい教育」に生かしたいもの』について、回答の割合が高かった項目を平成17年度調査結果と比較すると、教職員の回答は平成25年度調査では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(68.7%)、「個性豊かでたくましい人づくり」(40.8%)、「神奈川の歴史や伝統文化・風土」(36.7%)であり、平成17年度調査では「個性豊かでたくましい人づくり」(39.0%)、「共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動」(30.7%)、「神奈川の歴史や伝統文化・風土」(29.5%)であった。

保護者の回答は平成25年度調査では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(61.0%)、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(42.5%)、「個性豊かでたくましい人づくり」(31.7%)であり、平成17年度調査では「個性豊かでたくましい人づくり」(40.0%)、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(34.7%)、「温暖化やエネルギーなど地球規模で取り組むべき問題」(30.0%)であった。

学校評議員の回答は平成 25 年度調査では「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」(75.3%)、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(46.4%)、「個性豊かでたくましい人づくり」(32.6%)であり、平成 17 年度調査では「個性豊かでたくましい人づくり」(46.0%)、「共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動」(31.7%)、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(31.3%)であった。(表VIII-4 参照)

表 VIII-4 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの(上位8項目)

2			に生かしたいもの(上位の項目)			
	教耶		保部		学校記	
	(平成 25 年度)	(平成 17 年度)	(平成 25 年度)	(平成 17 年度)	(平成 25 年度)	(平成17年度)
	n=2, 046	n=1, 863	n=3, 632	n=3, 876	n=534	n=515
	自他のいのち	個性豊かでた	自他のいのち	個性豊かでた	自他のいのち	個性豊かでた
1 位	を尊重する心	くましい人づ	を尊重する心	くましい人づ	を尊重する心	くましい人づ
	などの豊かな	くり	などの豊かな	くり	などの豊かな	くり
	人間性や社会		人間性や社会		人間性や社会	
	性 (※)		性 (※)		性(※)	
	68. 7%	39.0%	61.0%	40.0%	75. 3%	46. 0%
	個性豊かでた	共生社会の実	社会のグロー	社会のグロー	社会のグロー	共生社会の実
	くましい人づ	現をめざすボ	バル化に対応	バル化に対応	バル化に対応	現をめざすボ
2	くり	ランティアや	した国際理解	した国際理解	した国際理解	ランティアや
位		社会貢献活動	や外国語コミ	や外国語コミ	や外国語コミ	社会貢献活動
137			ュニケーショ	ュニケーショ	ュニケーショ	
			ン	ン	ン	
	40. 8%	30. 7%	42.5%	34. 7%	46. 4%	31. 7%
	神奈川の歴史	神奈川の歴史	個性豊かでた	温暖化やエネ	個性豊かでた	社会のグロー
	や伝統文化・	や伝統文化・	くましい人づ	ルギーなど地	くましい人づ	バル化に対応
3	風土	風土	くり	球規模で取り	くり	した国際理解
位				組むべき問題		や外国語コミ
137						ュニケーショ
						ン
	36. 7%	29. 5%	31. 7%	30.0%	32.6%	31. 3%
	社会のグロー	温暖化やエネ	神奈川の歴史	神奈川の歴史	神奈川の歴史	神奈川の歴史
	バル化に対応	ルギーなど地	や伝統文化・	や伝統文化・	や伝統文化・	や伝統文化・
4	した国際理解	球規模で取り	風土	風土	風土	風土
位	や外国語コミ	組むべき問題				
177	ュニケーショ					
	ン			共生社会の実		
	27. 0%	25. 0%	27. 9%	現をめざすボ	31.3%	26. 8%
	共生社会の実	社会のグロー	学校や地域で	ランティアや	共生社会の実	温暖化やエネ
	現をめざすボ	バル化に対応	の防災・減災	社会貢献活動	現をめざすボ	ルギーなど地
5	ランティアや	した国際理解	(※)		ランティアや	球規模で取り
位	社会貢献活動	や外国語コミ			社会貢献活動	組むべき問題
1.7		ュニケーショ				
		ン				
	24. 8%	22. 3%	24. 8%	23.6%	28. 3%	20. 4%
	学校や地域で	高度情報化時	温暖化やエネ	高度情報化時	温暖化やエネ	高度情報化時
	の防災・減災	代に対応した	ルギーなど地	代に対応した	ルギーなど地	代に対応した
6 位	(※)	IT(情報技	球規模で取り	IT(情報技	球規模で取り	IT(情報技
		術)	組むべき問題	術)	組むべき問題	術)
	22. 6%	12. 5%	20.6%	15. 8%	19.3%	10. 9%
	高度情報化時	これからの社	共生社会の実	これからの社	学校や地域で	これからの社
フ 位		会を支える科		会を支える科	の防災・減災	会を支える科
	代に対応した	学技術	現をめざすボ	学技術		学技術
	ICT(情報	1 12111	ランティアや	1 12.111	(※)	7 32113
	通信技術)		社会貢献活動			
	16. 4%	7. 7%	18.9%	5. 3%	17. 4%	9. 1%
8 位	温暖化やエネ	その他	高度情報化時	その他	高度情報化時	その他
	ルギーなど地		代に対応した		代に対応した	
	球規模で取り		ICT(情報		ICT(情報	
	組むべき問題		通信技術)		通信技術)	
	祖のへる问題 14.4%	1. 9%	14.6%	1.3%	15. 2%	2. 7%
	14.4%	1. 370	14.0%	1.3%	13. 2%	۷. ۱/۱۵

※印は平成25年度の新規追加項目